

# バスナシリーズ 施工手順

浴室(継目処理が不要な場合)

## 1. 材料の準備

バスナシリーズの施工には床シートの他に施工用副資材(床材を貼り付ける接着剤や両面テープ、シール材、下地補修材)が必要です。下表の2種類の施工用副資材セット、もしくは施工用副資材をそれぞれ個別にご購入ください。

施工用副資材		接着剤・両面テープ		シール材		下地補修材	
		どちらか一方を選択		必要		条件によって必要(※②)	
		バスナセメントEPO	バスナテープ	バスナシールSS	コーキングガン(※①)	クイックレベラー	バスナパテEPO
施工用副資材セット 同梱内容(※③)	バスナテープ 施工材料パック	×	○	○	×	×	×
	バスナFA 施工材料パック	○	×	○	×	○	×

○: セットに同梱されている ×: セットに同梱されていない

※① 施工にはコーキングガン(シール用のガン)を別途ご購入いただく必要があります(ホームセンター等でご購入いただけます)。

※② 下地補修材が必要なケースにつきましては、『2 下地の調整』をご参照ください。

※③ バスナテープ施工材料パックにはバスナシールSS用ヘラが同梱されています。

## 2. 下地の調整(必要な場合のみ)

タイル目地などの下地の凹凸の深さが1mm以上もしくは、凹凸の間隔が10mm以上の場合は下地処理を行ってください。

下地補修方法の詳細につきましてはP42をご参照ください。

## 3. 床面寸法の測定・シートのカット

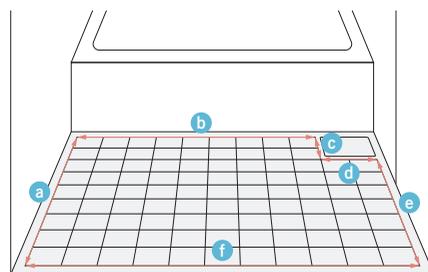
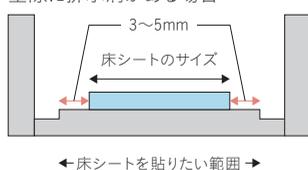
### ① 床シートを貼る範囲を決め、メジャー等で採寸します。

※床シートの端部は最後にバスナシールSSでシール処理を行うため、下図のように各辺、貼りたい範囲よりも3~5mm程度小さくなるように採寸してください。

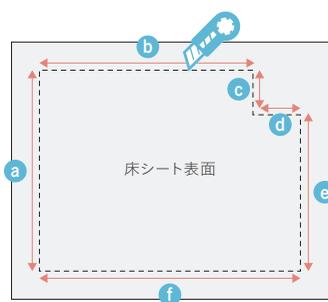
シートを壁際まで施工する場合



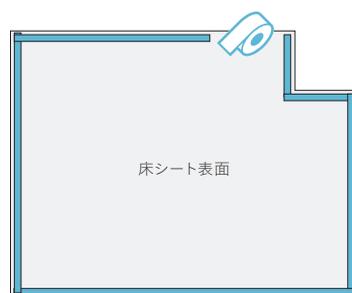
壁際に排水溝がある場合



### ② 寸法通りに床シートをカットします。



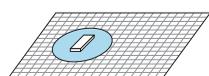
### ③ カットしたシートの周囲にマスキングテープを貼付けます。



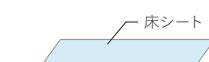
排水溝などが床面の中心にある場合



排水溝より半径が3~5mmの両面テープの剥離紙を剥がし、型紙を排水溝の位置に置き、型紙を床シートに貼ります。



両面テープの剥離紙を剥がし、型紙を排水溝の位置に置きます。



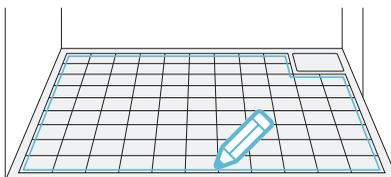
床シートを貼り付け位置に仮置きし、型紙を床シートに貼り付けます。



床シートを裏返し、型紙に沿ってカットします。

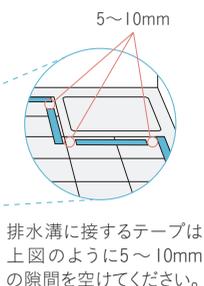
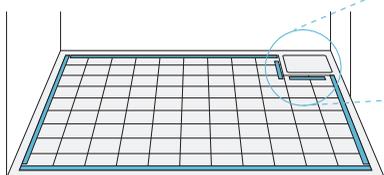
## 4. 床シートの貼付け

- ① 下地のゴミ、ホコリを取り除きます。
- ② カットした床シートを下地の上に仮置きし、貼付ける場所に鉛筆等でしるしを入れます。

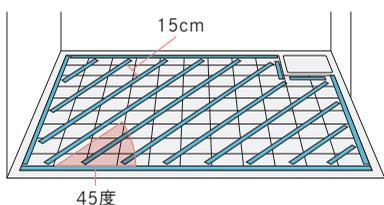


### (A) バスナテープを使用する場合

- ③ 下地に描いたしるしに沿ってバスナテープを貼ります。



- ④ 周囲に貼ったバスナテープの内側に斜め(45度程度)に15cm間隔でバスナテープを貼ります。

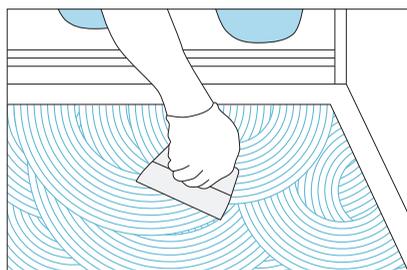


- ⑤ 床面に貼付けたバスナテープの剥離紙を剥がし、床シートを貼付けて『圧着』します。

### (B) バスナセメントEPOを使用する場合

- ③ 使用方法に従ってバスナセメントEPOのA液・B液を等量混合し、ヘラ等(施工パックには混合用のヘラが同梱されています)を用いて均一になるまで混ぜます。
- ④ 付属のハケを使用し、接着剤を下地に速やかに塗布します。適切な待ち時間を取ったのち、シートを貼付けて『圧着』します。

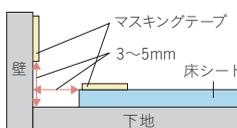
待ち時間の目安 夏季：20～60分 冬季：20～120分



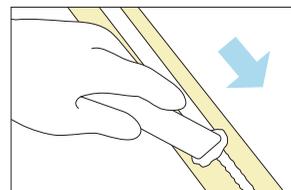
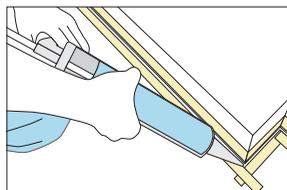
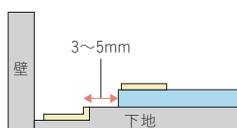
## 5. バスナシールSSの充填

- ① 貼付けた床シートの周囲に3~5mm程度の隙間を空けてマスキングテープを貼ります。
- ② コーキングガンを用いてバスナシールSSを充填します。
- ③ バスナシールSS用ヘラを使いシールを掻き取った後、マスキングテープをすべて剥がします。

シートを壁際まで施工する場合

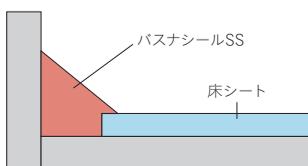


壁際に排水溝がある場合



### 仕上がりのイメージ

シートを壁際まで施工する場合



壁際に排水溝がある場合

